

# 次世代ネットワークインタフェース資料(1.0版) 正誤表(1/2)

2007.11.8  
NTT東日本  
NTT西日本

【別表4(LAN型通信仕様)】

修正箇所			誤	正( )
対象	項番	箇所		
別表 4  LAN 型通 信仕 様	1-1	P.7 2.2.1「図2-3 カスタマタグ付きのIEEE802.1adフレームフォーマット」内のフィールド長	<u>46</u> ~1500	<u>42</u> ~1500
	1-2	P.8 2.2.1「データ、LLCデータ」内容説明部分	フィールド長は46~1500byte。	フィールド長は46~1500byte、もしくは42~1500byte。
	1-3	P.8 2.2.2「表2-3 MACフレーム長」内のカスタマタグ付きの最小フレーム長	<u>72</u> byte	<u>68</u> byte
	1-4	P.8 2.2.3 サービスタグのVID範囲	VIDの値については、2~ <u>4064</u> の間の値	VIDの値については、2~ <u>4001</u> の間の値
	1-5	P.14 5.1.2.1「表5-1 ERP設定条件」内の「ドメインID」の設定値	<u>0.1</u>	<u>1.2</u>
	1-6	P.16 5.3 フィルタリング条件	ただし、リングプロテクションのR-CCのために <u>0x01-80-C2-00-06</u> は廃棄対象外となる。	ただし、サービスタグ付きのSTP(BPDU)フレーム、およびリングプロテクションのR-CCフレーム( <u>01-80-C2-00-00-05</u> )は廃棄対象外となる。

本内容につきましては、1.1版にて反映し、HPにて公開致します。

# 次世代ネットワークインタフェース資料(1.0版) 正誤表(2/2)

2007.11.8  
NTT東日本  
NTT西日本

【別表4-技術資料1】

修正箇所			誤	正( )
対象	項番	箇所		
別表 4  技術 資料 1	2-1	2.2.1「図 2-7 ERP制御フレーム共通構成」におけるフィールド説明	version・・・プロトコルバージョン番号「0x-00-01(2byte)」	version・・・プロトコルバージョン番号「0x00-01(2byte)」
	2-2	2.4.1および2.4.2の説明文(4箇所)	着EN-ID	着RN-ID
	2-3	2.4.1「図 2-13」のシーケンス内におけるスイッチAが受信する信号	R-AIS:R2(A_B)+故障ID	R-AIS:R2(B_A)+故障ID
	2-4	2.4.1「図 2-13」のタイトル	A-B間両方向故障発生時の優先リング(R2)	A-B間両方向故障発生時の非優先リング(R2)
	2-5	2.4.2「図 2-14 スイッチBの故障発生時の優先リング(R1)」の説明文	該当ポートに設定された優先Ring-IDと同じRing-IDが設定されたリングポートa1から	該当ポートに設定された複数のRing-IDの内、優先Ring-IDではないRing-IDが設定されたリングポートa1から
	2-6	2.4.4「図 2-17 故障復旧後の切り戻し」のシーケンス内における表記	インスタンス I-ID	ドメイン D-ID
	2-7	2.6「表 2-7 ERPパラメータ」のRing-ID部分	0x0001~0xFFFF	0x0000~0xFFFF
	2-8	2.6「表 2-7 ERPパラメータ」の優先Ring-ID部分	0x0001~0xFFFF	0x0000~0xFFFF
	2-9	2.6「表 2-7 ERPパラメータ」【ドメインIDを追加】	(記載なし)	設定項目:ドメインID 対象:スイッチ 設定条件/初期値(任意):- 設定条件/設定範囲:0x0000~0xFFFF 設定条件/刻み:1bit

本内容につきましては、1.1版にて反映し、HPにて公開致します。